

コンベア危険箇所の見える化活動

①改善前



コンベアに、ローラとベルトの隙間が空いている箇所があり、手が巻き込まれた場合、重大災害に繋がる可能性がある。

②改善後



塩ビ板でカバーを作成し、誤って手が入らない様にした。(全長3m以上あるため、5箇所に分けてカバーを設置)

③表示貼付



注意喚起のラベルを作成してカバーに貼付けした。図、英語表記し、誰でも分かり易い様に工夫。

④他ラインへ横展



同様の設備が3ラインある為、水平展開。合計11箇所にカバーの設置実施した。